



九州大学と共に未来を創る。

# 九州大学基金

K y u s h u U n i v e r s i t y F u n d

ご支援のお願い



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学 総務部同窓生・基金課  
基金事業推進室

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744  
TEL 092-802-2150

E-mail: k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

<https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>



SNSでも最新情報をお届け！



@kyudaikikin

(旧Twitter)



@iwa1859p

日々活動を発信しておりますので  
ぜひフォロー・いいねをお願いします！



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

## 総長からのメッセージ

日頃より九州大学の活動にご理解とご支援を賜り、まことにありがとうございます。  
九州大学は、明治44（1911）年の創立以来、幅広い学問を礎に社会と深く関わりながら発展を続けてまいりました。

世界水準の研究教育を展開することはもちろん、産学連携やスタートアップ創出を通じて大学で生まれた研究成果やアイデアを社会実装につなげ、九州・福岡の地から世界へ新たな価値を作り出してまいります。そして、地域や世界の未来を切り開く「人」を育てていきます。それこそが本学の重要な使命と考えています。

こうした挑戦を持続的に展開するには、安定的かつ持続可能な独自財源が不可欠です。九州大学基金へのご寄附は、資金面でのご支援にとどまらず、皆さまからの期待として私たちを支え、大学の自由な発想と挑戦を後押しする力となります。教育・研究・医療・学生生活のあらゆる場面で、次代を担う学生や研究者の力となります。

これからも九州大学の活動と基金事業へのご理解とご賛同を賜り、力強いご支援をお願い申し上げます。



九州大学総長  
赤司 浩一

# 知をつなぎ、人を育て、社会変革を呼び起こす 大学へ

## 九州大学基金へのご支援をお願いいたします

### 九州大学へのご支援

VISION 2030では8つのビジョンを定め、多様なアプローチによる自由闊達な研究と、それらが基盤となって生み出される先端研究や、未来を拓く探究心旺盛な学生を育てる教育などにより、国際頭脳循環を創出する知のプラットフォームとなることを目指しています。

このような目標の実現に向けて、大学として研究教育の充実と活性化を図っていますが、それに比例して必要な経費も増え続けており、今後も世界水準の研究教育を展開するには、安定した独自財源が必要です。

このため、大学運営全般を対象とした「大学に一任する」へのご寄附に加えて、2025年には新たに「エンダウメント型基金」を創設しました。

このほかにも、「スタートアップ共創基金」や「企業型冠奨学金」も新たに設置するなど、研究・学生・病院・施設整備へご支援いただける用途特定プロジェクト等の寄附メニューの充実を図っております。

本学に対する皆さまからの末永いご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



### 実現に向けた8つのビジョン

|         |       |         |      |
|---------|-------|---------|------|
| VISION1 | ガバナンス | VISION5 | 社会共創 |
| VISION2 | DX    | VISION6 | 国際協働 |
| VISION3 | 教育    | VISION7 | 医療   |
| VISION4 | 研究    | VISION8 | 財務基盤 |

『Kyushu University VISION 2030』  
の詳細は特設サイトをご覧ください





# 4つのキャンパス

福岡を中心に

九州大学は、東京・京都・東北帝国大学に次ぐ4番目の帝国大学として1911年に創立されました。現在は主に4つのキャンパスに12学部・20学府を擁する総合大学で、伊都キャンパスを「総合科学の中枢・実証実験拠点」、病院キャンパスを「生命医療科学拠点」、筑紫キャンパスを「先端科学融合拠点」、大橋キャンパスを「先端デザイン拠点」として、それぞれ特色ある教育・研究を展開しています。



伊都キャンパス



病院キャンパス

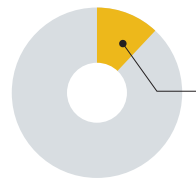
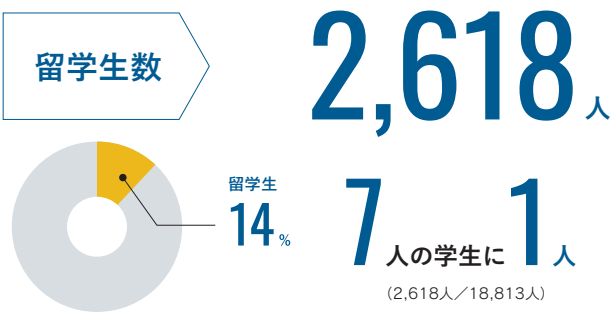


筑紫キャンパス



大橋キャンパス

## ●基礎データ



福岡市西部に広がる伊都キャンパス。東西約3km、東京ドーム約60個分を誇る日本最大級の単一キャンパス。徒歩で端から端まで移動すると、1時間近くかかることも。



共創学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、芸術工学部、農学部



人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境学府、法学府、法務学府、経済学府、理学府、数理学府、システム生命科学府、医学系学府、歯学府、薬学府、工学府、芸術工学府、システム情報科学府、総合理工学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府、マス・フォア・イノベーション連係学府、人文情報連係学府

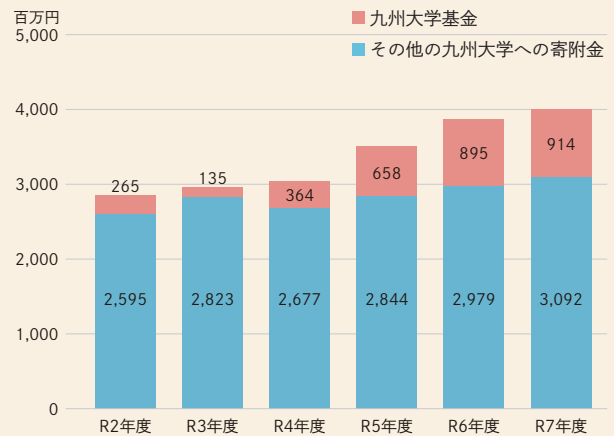
## 九州大学基金について

九州大学基金は平成23（2011）年に、百周年記念事業の一つとして創設されました。グローバル化する世界の学術リーダーとして「知の新世紀を拓く」拠点の構築をめざし、世界中の人々から支持される質の高い高等教育を一層推進し、より善き知の探求と想像・展開の拠点として、人類と社会に真に貢献する研究活動を促進していくため、九州大学の教育研究、診療等に対する支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的としています。

## 九州大学全体に見る九州大学基金

九州大学では、企業・個人の皆さまから教育・研究活動の充実に向けて毎年多くのご寄附をいただいております。令和7年度の寄附総額は約40億円にのぼります。そのうち、九州大学基金には約9億1千万円のご寄附をいただきました。

### 寄附金受入額の推移



since 1911

1911  
明治44年

九州帝国大学創立  
東京・京都・東北帝国大学に次ぐ、第4番目の帝国大学として創立

1949  
昭和24年

新制九州大学発足、教育学部設置  
法学部、経済学部、文学部設置

2003  
平成15年

九州芸術工科大学と統合

2004  
平成16年

国立大学法人化

2005  
平成17年

伊都キャンパス開校

2011  
平成23年

創立100周年

2018  
平成30年

共創学部設置  
伊都キャンパスへの統合移転完了

2021  
令和3年

指定国立大学法人に指定

2023  
令和5年

箱崎キャンパスの建物4棟、登録有形文化財に登録

2024  
令和6年

旧正門および塀、登録有形文化財に登録  
これにより箱崎の建物すべてが登録完了



箱崎サテライト

2025  
令和7年

大橋キャンパスの旧九州芸術工科大学環境画像棟ほか5棟も登録有形文化財に登録



九州帝国大学正門から望む法文学部本館



アインシュタインの来学[大正11(1922)年]

大学全体へのご支援

九州大学の「今」を支え、「未来」を育てます。

九州大学基金には、用途を「大学に一任する」ご寄附と、ご寄附を運用しながら将来にわたって大学を育てる「エンダウメント型基金」があります。分野を限定せず、大学全体を支えたいという皆さまのお気持ちに広くお応えするものです。ぜひご支援をお願いいたします。



研究へのご支援

最高水準の研究を支援し、次代を担う若手研究者を育てます。

九州大学は「世界と伍する研究力への強化」を掲げ、国際共同研究の推進や若手研究者の育成に力を注いでいます。未来を切り拓く研究者たちへのご支援をお願いしています。



学生へのご支援

未来を築く探究心旺盛な学生の活動を支援します。

経済的な理由で挑戦を諦めることのないよう奨学金や留学支援を整え、学生が安心して勉学・研究に打ち込み、グローバル人材へと成長できる環境づくりのため、ご支援をお願いしています。



病院へのご支援

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

九州大学病院は、高度医療の中核拠点として、また地域医療の最後の砦として、質の高い診療と優れた医療人の育成に努めています。その使命を果たし続けるため、ご支援をお願いしています。



研究を  
究める

学生を  
支える

医療を  
支える

大学を支え  
育てる

環境を  
整える

「知」を  
育む

部活動  
を応援

施設整備へのご支援

研究・教育のための施設整備や環境整備を支援します。

2018年に伊都キャンパスへの移転が完了し、世界的レベルの教育・研究拠点にふさわしい施設整備を進めています。歴史的建築の残る箱崎サテライトの保存・活用にも、ご支援をお願いしています。



学部・学府・研究院等へのご支援

学部・学府、研究・教育を支え、大学のさらなる発展を推進します。

「学んだ学部を応援したい」「子や孫が学ぶ学部を支えたい」など、卒業生や保護者それぞれの想いに応えられるよう、学部・学府・研究院・センター等への寄附が可能になりました。特定のプロジェクトに限定しない、柔軟なご支援をお願いしています。



部活動・サークル活動へのご支援

目標に向かって成長する学生たちを支援します。

九州大学には体育系・文化系の多彩な課外活動団体があり、学生たちは仲間と成長を続けています。器具や設備維持費の高騰が続く中、目標に向かって努力する学生たちへ、ご支援をお願いしています。





大学全体へのご支援

- ☐ 大学に一任する
- ☐ エンダウメント型基金



研究へのご支援

- ☐ スタートアップ共創基金
- ☐ 女性研究者活躍促進プロジェクト
- ☐ 九州大学若手研究者育成・研究支援事業基金
- ☐ 糸島インクルーシブ・アートヴィレッジ・プロジェクト
- ☐ BECAT・環境をテーマにした建築研究教育プロジェクト
- ☐ ウェルビーイングの定量化と育成プロジェクト：  
新国富指標（Beyond GDP）の活用に向けて
- ☐ 激変する森林生態圏の再生と保全
- ☐ 脂質膜の動的振る舞いと創薬応用の分子基盤解明プロジェクト
- ☐ 大気二酸化炭素を起点とする炭素資源循環研究プロジェクト
- ☐ こころとからだを育む ― 発達支援と心理リハビリテーション拠点整備プロジェクト
- ☐ 糸島子どもの居場所プロジェクト



学生へのご支援

- ☐ 九大生応援基金
- ☐ 修学支援事業基金 ※税額控除対象
- ☐ ヨット部艇庫建設・活動支援基金
- ☐ 教育研究活動における安全管理・安全教育活動支援基金
- ☐ 課外活動における安全対策等支援基金
- ☐ 産業数学人材育成プロジェクト
- ☐ 学生の自主的アントレプレナーシップ活動支援（S.I.P）※税額控除対象
- ☐ 留学生支援事業基金
- ☐ 未来人材育成奨学金【法人向け】
- ☐ 価値創造型半導体スペシャリスト育成プロジェクト
- ☐ ケンブリッジ大学英語・学術研修参加支援基金
- ☐ 企業型冠奨学金【法人向け】
- ☐ キャリア支援基金【法人向け】
- ☐ 九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）
- ☐ QURIES基金
- ☐ 九州大学工学部創造工房建屋建設事業
- ☐ 九州大学保健学学生支援基金



病院へのご支援

- ☐ 九州大学病院基金



施設整備へのご支援

- ☐ 伊都キャンパス植樹プロジェクト
- ☐ 九州大学附属図書館 医学図書館整備事業
- ☐ 九州大学附属図書館整備事業
- ☐ 総合研究博物館 標本整備・保存・活用プロジェクト  
― 発見を生むコレクションを、次の100年へ ―



学部・学府・研究院  
等へのご支援

- ☐ 法学研究院基金
- ☐ 芸術工学支援基金
- ☐ カーボンニュートラル・エネルギー研究支援
- ☐ 工学教育研究支援基金
- ☐ 法科大学院基金
- ☐ 次世代アントレプレナー育成基金
- ☐ 水素エネルギー研究教育基金
- ☐ 数学教育研究支援基金
- ☐ 理学支援基金
- ☐ ISEE（システム情報科学）基金
- ☐ 歯学教育研究支援基金
- ☐ 次世代の医療を拓く医学奨励基金
- ☐ 農の未来共創基金
- ☐ アジア・オセアニア研究教育支援基金
- ☐ 地球環境・エネルギー問題研究支援基金
- ☐ 薬学教育研究支援基金
- ☐ 言語文化教育研究支援基金
- ☐ 物質・材料・化学先端研究支援基金
- ☐ 人文学教育・研究のための支援基金
- ☐ 総合理工学教育研究支援基金
- ☐ 高等研究院活動基金
- ☐ 経済学研究院基金
- ☐ エネルギー人材育成・研究教育支援基金
- ☐ 共創学部教育支援基金



部活動・サークル活動  
へのご支援

- ☐ 部活動・サークル活動支援基金

## 支援をうけた 学生・研究者の声

### 物理・数学への探求心を力に、 数理論理学者をめざして歩み続けます。

「この世界は何なのかを問い続けて」をテーマに山川賞を受賞いたしました。現在、物理自主ゼミサークル「PhysiKyu」の代表として、学生同士が物理・数学を深く学び合える環境づくりに努めるとともに、数理論理学者をめざして日々探求を続けています。また、ご支援のおかげで複数回の短期留学を経験し、勉学に全力を注げることに大変感謝しています。今後も山川賞受賞者としての自覚を持ち、夢の実現に向けてより一層研鑽して参ります。

山川賞奨学生 理学部物理学科 安成 温也 さん

学生



研究者

### 座学と実習で、半導体技術のスペシャリストを育成。

価値創造型半導体人材育成センターでは、半導体・集積回路の材料、設計、製造に加え、社会変革に求められるニーズを理解し、それを半導体技術に反映できるスペシャリストを育成しています。本学の学生のみならず他大学の学生や企業・官公庁の方まで幅広い方に、座学に実習を取り入れたプログラムを提供しています。特に米国大学に滞在する半導体実習コースは、皆さまのご寄附からなる基金のお陰で実現し、学生にとって貴重な体験となっています。

価値創造型半導体スペシャリスト  
育成プロジェクト

大学院システム情報科学研究院  
情報エレクトロニクス部門  
湯浅 裕美 教授

日米半導体プロジェクトUPWARDSに基づく  
米国大学におけるインターンシップ



### 皆さまからの温かいご支援に支えられ、 日々の音楽活動に取り組んでいます。

日頃より、九大フィルハーモニー・オーケストラの活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附により、楽器運搬費や楽器・備品の整備など、日々の活動に必要な費用に充てることができました。心より感謝申し上げます。当団では2027年に東京での特別演奏会も予定しており、今後の活動に向けて引き続き皆さまのご支援を必要としております。皆さまの温かいお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

部活動・サークル活動支援基金 医学部保健学科 寺崎 万優子 さん

九大フィルハーモニー・オーケストラ幹事長



指揮者の先生をお招きしての  
リハーサル風景

学生



研究者

### 可能性を秘めた標本たちを管理し、 新たな発見を届けていきます。

総合研究博物館では、これまで九州大学における研究の過程で収集されたさまざまな資料を管理し、研究や展示に活用しています。自然史資料や考古資料など、それらの資料は無限の可能性を秘めています。たとえば昆虫の標本にはまだまだたくさんの新種がふくまれており、宝の山です。皆さんからいただいたご寄附で、それらの資料をよりしっかりと管理し、また皆さんにご覧いただくための展示に活用したいと思っています。

総合研究博物館  
箱崎サテライト拠点化事業

総合研究博物館  
丸山 宗利 准教授

※後継事業として「総合博物館標本整備・保存・活用プロジェクト」が  
2026年5月からスタートしました



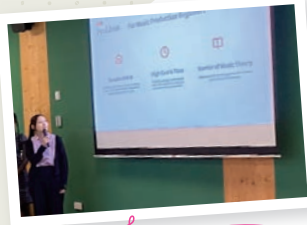
ケニアの大地にそびえる  
巨大なシロアリ塚の上で  
自然の力を体感

### 台湾との共同研究や海外研究インターンシップを通して、 国際的に活躍する研究者をめざします。

私は現在、新規抗菌薬の開発に関する研究に加え、台湾との共同研究として変形性関節症に対する創薬研究にも取り組んでおり、日々研究の難しさと向き合いながらも大きなやりがいを感じております。本奨学金によるご支援により、国際共同研究を円滑に進めるための環境を整え、海外研究インターンシップへの挑戦ができ、研究者として多くの成長ができたことに心より感謝申し上げます。今後も、国際的に活躍できる研究者となるよう努めてまいります。

未来人材育成奨学金 薬学部創薬科学専攻 松本 美鈴 さん

学生



シンガポールでの  
アントレプレナーシップ  
教育プログラムでの発表

研究者

### 持続可能な建築と都市をつくる、 多様な議論のプラットフォーム。

BECAT (Built Environment Center with Art and Technology) は持続可能な建築と都市の実現をめざす研究と教育の場であり、人々の思いや理念を実装すべく、多くの専門家や地域の関係者と協力してプロジェクトを進めています。これまでも参加した教員、学生、関係者の間でさまざまな議論を展開してきたことに価値を感じており、それが新しい事物連関と人のネットワークを生むきっかけになっています。今後も異なる背景の人々や企業などが相乗するプラットフォームとして、新しい試みや挑戦を続けてゆきたいと考えています。

BECAT・環境をテーマにした  
建築研究教育プロジェクト

大学院人間環境学研究院  
都市建築学部門・BECATセンター長  
重松 象平 教授

BECAT応用プログラムで学生が  
制作した「製塩のための集熱装置  
『またいちの塔』」





不動産、株式等の現金以外によるご寄附をお考えの方へ

個人の方からの土地、建物等の不動産、株式等の有価証券、金地金などの現金以外によるご寄附もお受けしています。本学に対するご寄附については、一定の要件を満たした場合にみなし譲渡所得税\*の非課税措置が受けられます。なお、寄附資産の大学業務での活用が前提となるため、受け入れにあたっては個別にご相談させていただきます。

※個人が資産(不動産・株式など)を法人や他人に無償で渡した際に、その資産の値上がり益に対して課税される所得税

遺贈(遺言によるご寄附)をお考えの方へ

遺言により現金や株式、不動産などを教育機関や公益法人等へ寄附する「遺贈寄附」。相続税の負担を軽減できるうえ、生前の生活資金に影響を与えないため、近年「人生最後の社会貢献」として関心が高まっています。

九州大学基金への遺贈寄附

「若者の学びを支援したい」「特定の分野の研究に貢献したい」といった想いをお持ちの卒業生や篤志家のほか、一般の皆さまからのご相談が増えていきます。本学では、皆さまから託されたご支援を、大学の運営や教育・研究を支える大きな力として有意義に活用させていただきます。

遺贈寄附をはじめ、本学へのご寄附に関するご相談やご質問を承っております。お気軽に下記窓口までお問い合わせください。

九州大学基金 遺贈相談窓口  
TEL 092-802-6789

受付時間／平日9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)



WEBでのご相談はこちら

健康や暮らしに役立つ  
無料セミナーを開催しています



セミナーの様子

毎年、本学の研究者や各分野の専門家を講師に迎え、健康や暮らし、お金の管理、各種手続きなどをテーマとした無料セミナーを、北九州・福岡・大阪・東京の4会場で開催しています。詳細は九州大学基金ホームページをご覧ください。

インターネットからの手続き

九州大学基金ホームページからクレジットカード、PayPayでお手続きができます。

- ①「寄附する」ボタンをクリック
- ↓
- ②ご希望の寄附方法を選びボタンをクリック
- ↓
- ③必要な情報を入力し、画面の案内に沿ってお申し込みください

- 単回のご寄附に限らず、自動的に継続でご寄附いただくことも可能です(継続的なご寄附は、毎月・年2回・年1回からお選びいただけます)
- 法人、団体の皆さまは別途お問い合わせください

九州大学基金ホームページ  
https://kikin.kyushu-u.ac.jp/

九州大学基金 検索

金融機関からの振込による手続き

- 下段の払込取扱票に必要事項をご記入の上、切り離してから指定の金融機関よりお振込みください
- この払込取扱票はご寄附申込書も兼ねていますので、寄附目的等の必要事項は漏れなくご記入ください  
なお、寄附目的にレ印の記載が無い場合は「大学一任」としてお受けしますので予めご了承ください
- この払込取扱票にて指定金融機関でのお振込みの場合は、振込手数料は不要です

ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

総務部同窓生・基金課  
TEL 092-802-2150

受付時間／平日9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)



税制上の優遇措置

個人

本学へのご寄附は、確定申告を行うことで、  
所得税の還付および住民税の控除を受けることができます

福岡市在住、年収500万円のKさんの場合

30,000円のご寄附

本学から確定申告に必要な書類を発行いたします

確定申告

「修学支援事業基金」「学生の自主的アントレプレナーシップ活動支援(通称S.I.P)」へのご寄附は、  
確定申告の際に税額控除制度を選択することができます

所得税控除の場合

所得税の還付 → 5,600円 = (30,000円 - 2,000円) × 20%

個人住民税の控除\*1 → 2,800円 = (30,000円 - 2,000円) × (2% + 8%)\*2

税額控除の場合

所得税の還付 → 11,200円 = (30,000円 - 2,000円) × 40%

個人住民税の控除\*1 → 2,800円 = (30,000円 - 2,000円) × (2% + 8%)\*2

※1 寄附の翌年1月1日時点でお住まいの自治体が本学を寄附金控除の対象法人としている場合に適用され、ご寄附いただいた年の翌年度の住民税から控除されます

※2 寄附金の住民税控除率は自治体によって異なります

控除額は年間の所得金額やご寄附の金額によって異なります。  
詳しくは 九州大学基金ホームページ をご覧ください。

法人

法人さまからのご寄附につきましては、  
法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます

個人情報の取り扱いについて

ご寄附により取得した個人情報につきましては、本学の個人情報の取り扱いに関する規則等に沿って適切に取り扱います。個人情報の取り扱いには十分配慮し、本基金により行う事業活動、事務手続きなど、本学から寄附者さまにご連絡する必要がある場合のみ利用させていただきます。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



所得税等の優遇措置を受ける際に必要な寄附金領収書は、ご入金か確認され次第お送りいたします。

九州大学 総務部同窓生・基金課  
〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL (092) 802-2150  
E-mail k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

【注意事項】

1. この用紙は、郵便局及び右記の払込指定銀行のどちらでもお使いいただけます。
2. この用紙は、払込内容を明記した受領証を保管願うため特に4連式で承認を受けたものです。
3. 振込手数料について  
(ゆうちょ銀行) この用紙によりご入金された場合の手数料は、九州大学が負担いたします。(加入者負担)  
(払込指定銀行) この用紙により同一銀行にご入金された場合の手数料は無料となります。
- (寄附金の記載例)  
[10,000円のご寄附であれば、いずれも10,000円を記載]
4. 払込みの際は、この用紙をご使用の上、通信欄に加え4票ともにおなまえ・金額等の必要事項をご記入いただき、郵便局又は払込指定銀行の本・支店の窓口にご提出ください。
5. 寄附金の領収書がお手元に届くまでは、本受領証を大切に保管してください。

銀行へのお願い

1. 払込みの場合は「電信扱い」をお願いします。
2. 払込取扱票は、九州大学 総務部同窓生・基金課宛「至急」ご回送ください。

払込指定銀行の  
普通預金口座名・口座番号

受取人名義:国立大学法人九州大学(九州大学基金)

福岡銀行 (箱崎支店) 2342087  
西日本シティ銀行 (箱崎支店) 2086349  
三井住友銀行 (福岡支店) 7464580  
三菱UFJ銀行 (福岡支店) 0482873

ゆうちょ銀行の  
当座預金口座名・口座番号

受取人名義:国立大学法人九州大学(九州大学基金)

ゆうちょ銀行 (一七九店) 01700-6-66037

個人情報の取扱いについて

九州大学は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、寄附者の個人情報は、「九州大学個人情報管理規程」に基づき適正に管理します。

本寄附申込により九州大学が取得した個人情報は、取扱いに十分注意するとともに九州大学基金に関する事務処理及び連絡並びに大学からの広報誌及び各種案内等の発送にのみ利用し、他の用途には利用いたしません。

この場所には、何も記載しないでください。